

A 技術・家庭科（技術分野）における育成をめざす「資質・能力」

育成をめざす「資質・能力」

◎ 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

※ 別添11-2「技術・家庭科（技術分野）において育成を目指す資質・能力の整理」（別添資料P.61）及び別添11-4「技術・家庭科（技術分野）科における教育のイメージ」（別添資料P.63）より作成
(1) 知識・技能 (2) 思考力・判断力・表現力 (3) 学びに向かう力・人間性等

資質・能力を育成する学びの過程

- 1) 既存の技術の理解と課題の設定
- 2) 技術に関する科学的な理解に基づいた設計・計画
- 3) 課題解決に向けた製作・制作・育成
- 4) 成果の評価と次の問題の解決の視点

技術・家庭科技術分野で育成することをめざす資質・能力は、単に何かをつくるという活動ではなく、「技術の見方・考え方」を働かせつつ、生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策が最適なものとなるよう設計・計画し、製作・制作・育成を行い、その解決結果や解決過程を評価・改善するという活動の中で効果的に育成できると示されています。



◆各校で考えてみましょう

別添11-2「技術・家庭科（技術分野）において育成を目指す資質・能力の整理」を読んで、次期学習指導要領の A材料と加工の技術 B生物育成の技術 Cエネルギー変換の技術 D情報の技術の各内容について具体的な目標の設定をしてみましょう。

見方・考え方

【技術・家庭科技術分野の見方・考え方】

技術の開発・利用の場面において用いられている、
「生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、
環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること」という技術ならではの視点や思
考のこと

技術・家庭科技術分野では、生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し
それを解決する力や、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を
工夫し創造しようとする態度等を育成することが求められており、そのためには「技術の見方・考
え方」を働かせることが重要であるといえます。

なお、学びの過程において困難さを感じる生徒への対応も必要です。

◇ 指導の工夫、手立ての例については、こちらまで 

[クリック](#)



各校で考えてみましょう

- ▶ 「資質・能力を育成する学びの過程」を実現するためには、生徒の興味・関心を踏まえた学習課題の設定が必要です。
具体的にどのような学習課題の設定ができるでしょうか。

C 技術・家庭科（技術分野）における教育内容の改善・充実 ～教育内容の見直し～

学びの過程



指導内容

「生活や社会を支える技術」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」の3つの指導内容で構成

教育内容

◎ 改訂後の教育内容と配列

➡ A 材料と加工の技術 B 生物育成の技術 C エネルギー変換の技術 D 情報の技術

◎ 急速な発展を遂げている情報の技術

➡ 小学校におけるプログラミング教育の成果を生かし、発展させる

● 従前からの計測・制御に加えて、

- ・ 双方向性のあるコンテンツに関するプログラミング
- ・ ネットワークやデータを活用して処理するプログラミング
- ・ 情報セキュリティ等についての充実